

Junior Advance

スコア別 ～学習範囲の目安～

現在のスコアと照らし合わせてみましょう。

スコアごとに基本的なスキルや多ジャンルの語彙が身についているか、自分の学校生活や日常生活の一部をぱっと英語で表現できるかを確認し、学習の目安としましょう。

得意なジャンルやトピックを増やしましょう。

各問題のジャンルやトピックを併記しています。自分の得意・苦手なジャンルやトピックを知り、語彙や母語での知識の習得に役立てましょう。

Listening comprehension

- 英語の発音（口の動かし方）やイントネーション（強弱リズム）が身についていない場合は、まず、問題集の学習と並行して発音学習の時間を確保しましょう。
- アカデミックな問題に出てくる語彙は、たとえ深く扱われないものでも、すべて書き出して意味と発音を確認し、例文を使ってスラスラ言えるまで覚えましょう。
- 得意なジャンルと苦手なジャンルの語彙を明らかにして、関連する書籍や記事を積極的に読んだり、聞いたり、視聴したりしましょう。

Reading Comprehension

- 知らない単語があっても辞書を引かずに、語順通りに読む練習を徹底しましょう。
- 知らない単語を飛ばしても丁寧に正確に読む練習をすることで、上記の判断力が身につく、効率よく得点につながられます。
- 長文を読む習慣をつけましょう。最初は音声と一緒に音読したり、オーバーラッピング（音声に合わせて声を重ねる）をしたりすることから始め、いきなり黙読しないようにしましょう。
- 問題のタイプを学び、「時間をかければ解ける問題」と「知識がないと解けない問題」を素早く判断できるようになりましょう。

【問題タイプ別の学習順】

1. 「主題」や「筆者の意図」に関する問題
2. 「詳細事項」「代名詞」に関する問題
3. 「同義語」や「慣用句」に関する問題
4. 「修辭的構造」に関する問題
5. その他すべての問題

Language Form and Meaning

根拠をもって、素早く解答できるまで繰り返し練習

語彙問題と文法問題の解き方の違いを認識する

- 語彙問題：単語そのものの意味を問います。類義語や、自コロケーションも含む
- 文法問題：時制や受動態、完了形などの動詞の形、接続詞や関係詞の使い方など、長文読解の導入として、正解文の精読を徹底する
- 単に問題を解くだけでなく、正解文を丁寧に読み込む「精読」が不可欠です。
- 文の構造を把握：主語、動詞、修飾語などを特定し、文がどのような構造になっているかを確認します。多ジャンルに触れる機会として語彙の構築に役立てる
- 知らない単語とその背景知識と一緒に学びましょう。
- 関連する出来事や人物、概念なども一緒に学ぶと、単語の定着率が上がります。





Listening Comprehension

スコア (300 点満点)		学習のアドバイス ・分からなかった語彙と同ジャンルの関連語彙を 5 つ調べる ・語彙学習 = 例文単位で、音読するまでがワンセット	模試の問題番号 ・優先順位の高い問題から、上から順に提示しています (問題の通し番号順に解く必要はありません)	
290-300	長めのスピーチについて、内容が学術的か一般的か、また表現が明確か暗示的かを問わず、趣旨を理解できる。長めのスピーチについて、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントを特定することができる。話し手のイントネーションやアクセントから推測することができる。より長めで複雑なスピーチで使われるイディオムをおおむね理解できる。内容が学術的か一般的かを問わず、長めのスピーチについて、話し手がどのように情報を使っているか理解できる (例: 意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする)。	<ul style="list-style-type: none"> ・4 ~ 10 文程度のやり取りやトークを聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る、読む力 ・アメリカや北米に関する語彙・知識 ・思い出や過去の出来事などの詳細な描写 	<ul style="list-style-type: none"> ・トークを聞き終わったのち、問題の解答を自分の言葉で (選択肢を見ずに) 応えられるまで内容理解と語彙表現を自分のものにする 	Part 1 Q9-12 ボランティア (会話・教師と生徒) (p.85) Q22-25 研修旅行-鉄器時代 (会話・友人) (p.86) Q34-37 美術・歴史 (トーク) (p.88)
250-285	内容が学術的か一般的かを問わず、表現が明確で、簡単な英語によって文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、趣旨を理解できる。内容が学術的か一般的かを問わず、簡単な英語で文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、重要ポイントを特定できる。簡単な英語で文脈が明確であれば、短いスピーチについて、内容を推測できる。やや複雑なスピーチで使われる一般的なイディオムを理解できる。身近な内容であれば、話し手がどのように情報を使っているか理解することができる (例: 意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする)。	<ul style="list-style-type: none"> ・4 ~ 6 文程度のやり取りやトークを聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る、読む力 ・自分が学んでいない高校教科のキーワード ・アメリカや北米に関する語彙・知識 ・手順やルールの説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読み、次のタイプの問題は必ず正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う 「主題の問題」、「詳細事項の問題」 「修辭的構造の問題」 ・アカデミックな語彙を使いながらも、友人同士の話のキャッチボールが複数回繰り返される ・アメリカ史の知識。語彙は TOEFL テスト全般における高得点取得の武器となる 	Q17-21 理科の先生 (会話・友人) (p.86) Q30-33 アメリカ史 (会話) (p.87) Q26-29 考古学 (トーク) (p.87) Q13-16 スポーツ (会話・友人) (p.85)
225-245	表現が明らかであれば、教室での短いアナウンスの趣旨を理解することができる。短いスピーチや会話において、表現が明らかで、強調されている場合には、重要ポイントを理解することができる。シンプルな英語で文脈が明確であれば、話された内容の直接的な言い換えを理解することができる。シンプルな英語で文脈が明確であれば、短いスピーチにおける話し手の目的を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・始めの 2 ~ 3 文程度を聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る力 ・選択肢を素早く読む力 ・助動詞の理解と文中の発音: must, must be, could や would などの多様な用法 ・従属接続詞の理解と文中の発音: while, because, after など 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読み、「主題の問題」に加えて、次の問題タイプの正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う 「話し手の意図の問題」 「推論の問題」 「予測の問題」 ・Intermediate Q3 と併せて、感染症、伝染病、歴史的に重要な病気などの語彙を学ぶ ・名詞を自分の学校に置き換えてトークを作成する 	Part 1 (p.84) Q6 生活指導 (健康)、 Q2 生活指導 (登下校)、 Q8 美術 (環境)、 Q1 生活指導 (交通)、 Q5 生活指導 (環境)、 Q3 生活指導 (ゴミ)、 Q7 生物 (食品)
below 225	アナウンス、短いスピーチ、簡単な会話の趣旨と重要ポイントを理解できるよう練習しましょう。シンプルかつ文脈が明確な短いスピーチの内容から、話し手の意図を理解する練習をしましょう。シンプルかつ文脈が明確な英語で話されている内容を、正しく適切に言い換える練習をしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の強弱リズム・等時性に合わせて文単位で英語を聞く力 ・SVC, SVO の語順で理解する力 ・要望・依頼・勧誘の表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読み、次のタイプの問題は必ず正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う 「話し手の意図の問題」 	該当問題なし



データ版模試 Advance

Reading Comprehension

スコア (300点満点)		学習のアドバイス ・分からなかった語彙と同ジャンルの関連語彙を5つ調べる ・語彙学習 = 例文単位で、音読するまでがワンセット	模試の問題番号 ・問題・各セクション、太字問題から取り組みましょう。 ・優先順位の高い問題から、上から順に提示していき す(問題の通し番号順に解く必要はありません)	
280-300	表現が明らかでない場合も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解することができる。難易度の高い複雑な英語を用いた文章も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントを正確に理解できる。内容が学術的か一般的かを問わず、読む際に、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて(例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする)、効果的に推測することができる。フィクションに登場する人物の態度や考え方を推測することができる。比喻をおおむね理解でき、複雑な英語を用いた学術的な文章においても、文脈から知らない単語の意味を把握できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1分間に120語以上のスピードで、文書を読み理解する力 ・比喻や言い換え等、文脈から理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う ・文の構成を理解する学習を取り入れる(TOEFL iBTのアカデミックライティングにつなげる) 	<p>Q28-34 文書(社会学・民族文化) (p.)</p> <p>Q14-19 (p.98-99)</p> <p>Q20-27 (p.100-101)</p> <p>Q35-42 (p.104-105)</p>
245-275	表現が明らかであれば、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解できる。文脈が必ずしも明確でなく、知らない単語が含まれていても、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントをおおむね特定できる。内容が学術的か一般的かを問わず、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて(例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする)、的確に推測できる場合がある。フィクションの出来事やあらすじをおおむね特定できる。シンプルな構成の文章において、文脈から知らない単語の意味をおおむね把握できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1分間に100~110語程度のスピードで、文書を読み理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のパラグラフを、時間をかけて正確に読み、必ず正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う ・「詳細の問題」に必要な情報を見逃さず解答しながら、最後まで読む ・馴染みのないテーマは、問題に取り組む前に、第1段落のみ単語を調べて背景理解をしてから取り組む ・文の構成を理解する学習を取り入れる(TOEFL iBTのアカデミックライティングにつなげる) 	<p>Q14-19 (Q15以外) 物語 (p.98-99)</p> <p>Q20-27 (Q27以外) 文書(アメリカの歴史) (p.100-101)</p> <p>Q35-42 (Q39,42以外) 文書(アレルギー) (p.2104-105)</p> <p>Q6-9 手紙(学校・依頼)(p.94-95)</p> <p>Q10-13 文書(食品・栄養)(p.96-97)</p>
210-240	表現が明らかで、内容が一般的であれば、趣旨を特定できる場合がある。シンプルな英語で文脈が明確であれば、内容が学術的か一般的かを問わず、基本的なポイントを特定できる場合がある。予定表やメニューなど、日常的かつ一般的な語彙を用いた非定型の文章から、基本的な情報をおおむね見つけることができる。平易な文章で、内容が一般的であれば、場合によっては単純な推測を行うことができる。シンプルな構成の文章で、内容が一般的であれば、文脈から知らない単語の意味を把握できる場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・1分間に100語程度スピードで、200~250語程度の量を読み主題や重要なポイントを理解する力 ・スラッシュを引きながら戻り訳をせず読む力 ・文中の主語、動詞、代名詞を素早く正確にとらえる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・「推論の問題」以外は時間内に解答できるようにする 	<p>Q1-5 文書・表(リサイクル) (p.92-93)</p>
below 210	シンプルかつ明確な英語で書かれた文章の、趣旨と重要ポイントを特定する練習をしましょう。シンプルかつ明確な英語で書かれた文章から、内容を推測できる練習をしましょう。予定表やメニューなど、非定型の文章から基本的な情報を見つける練習をしましょう。知らない単語でも、文脈から意味を把握できる練習をしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・1分間に80~90語程度のスピードで、150~200語程度の文書を理解する力 ・スラッシュを引きながら戻り訳をせず読む力 ・文中の主語、動詞、代名詞を正確にとらえる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題に正解することを目的とせず、「正確に速く読むための精読練習」に取り組む 	<p>該当問題なし</p>



Language Form and Meaning

スコア (300 点満点)		模試の問題番号 ・問題・各セクション、太字問題から取り組みましょう。 ・優先順位の高い問題から、上から順に提示しています（問題の通し番号順に解く必要はありません）
280-300	内容が学術的か一般的かを問わず、難易度の高い文法構造（例：関係詞節など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できる。主に学術的な内容で使用される単語を含む幅広い語彙を身に付けている。内容が学術的か一般的かを問わず、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できる。	<p>Q19-26 説明文（生物） (p.114-115) Q19,20 形容詞（分詞）、Q22, 23, 25 語彙、Q21, 24 不定詞の語法、Q26 主語 + 動詞（語彙：難）</p> <p>Q35-42 説明文（歴史） (p.118-119) Q35 主語 + 動詞、Q36 前置詞の語法、Q37, 42 語彙、Q38 比較級、Q39 関係詞、Q40 主語 + 動詞、Q41 疑問詞節</p> <p>Q27-34 文書（記事） (p.116-117) Q27 主語 + 動詞、Q28 前置詞の語法、Q29, 34 語彙、Q30 同位接続詞の語法、Q31 不定詞の語法、Q32 主語 + 動詞、Q33 関係詞</p>
250-275	内容が学術的か一般的かを問わず、基本的な文法構造（例：形容詞の比較級など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できるが、難易度の高い文法構造の意味や使い方は必ずしも認識できない。日常的によく使われる一般的な語彙を身に付けている。一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できるが、学術的な内容では困難となる場合がある。	<p>Q1-4 Eメール(p.108) Q1 形容詞（分詞）、Q2, Q4 主語 + 動詞、Q3 to 不定詞を使った構文</p> <p>Q5-8 お知らせ（クラブ活動） (p.109) Q5, 7 不定詞の語法、Q6 語彙、Q8 動名詞の語法</p> <p>Q9-12 お知らせ（学校） (p.110-111) Q9, 12 主語 + 動詞、Q10 形容詞の語形、Q11 形容詞（分詞）</p> <p>次の問題は難易度が高いため上記問題に取り組んでから取り組んでもよい</p> <p>Q13-18 物語（描写） (p.112-113) Q13 形容詞の語形、Q14 疑問詞節、Q15 There is/are、Q16 SVOO 書き換え、Q17 比較級、Q18 to 不定詞を使った構文</p>
210-245	一般的な内容であれば、最も基本的な文法構造（例：動詞の現在形・過去形など）の意味や使い方を正確に認識できる場合がある。最も頻繁に使われる、一般的な語彙を身に付けている。一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成を認識している場合もあるが、学術的な内容では困難となる場合が多い。	該当問題なし
below 210	一般的な語彙を増やしましょう。基本的な文法構造（例：主語と動詞の一致、簡単な前置詞など）に関する知識や使い方をさらに身に付ける練習をしましょう。文章構成の基本的な仕組みを理解する練習をしましょう。基本的な文法構造（例：主語と動詞の一致、簡単な前置詞など）に関する知識や使い方をさらに身に付ける練習をしましょう。文章構成の基本的な仕組みを理解する練習をしましょう。	該当問題なし